

---

# 中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

---

2008年12月9日号

©2008年10月における中国の小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年10月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

## 1 2008年の秋冬小麦の播種面積は基本的に安定

北方地区の秋冬小麦の播種は、2008年10月末には基本的に終了した。各省の播種状況を見ると、冬小麦の播種面積は安定的で、一部の集約産地ではやや増加し、黄淮海（黄河・淮河流域及び海州（現在の同省連雲港市））及び長江中下流の小麦主産地では前年比60万畝（畝：ムー／1畝＝15分の1ヘクタール）以上増加し、うち河南省、山東省、河北省、江蘇省の4省では10万畝以上の増加となった。

## 2 第1～3四半期の小麦及び小麦粉の輸出入は大幅に減少

2008年に入り、中国の小麦及び小麦粉の輸出は大幅に減少し、第1～3四半期の小麦輸出量は前年同期比92.64%減の12.59万トン、小麦粉輸出量は同63.85%減の14.64万トンとなった。同時に、国内への小麦供給は十分で、かつ小麦の国際価格が国内価格に比べ大幅に高かったことから、輸出量は大幅に減少した。第1～3四半期の小麦輸入量は、前年同期比99.52%減の373トン、小麦粉輸入量は同35.62%減の8,331トンとなった。

## 3 新小麦の買付量は昨年を大幅に超過

2008年の新小麦流通以降、国有食糧企業、備蓄企業及び加工企業等各種企業の買い付け

が積極的に行われ、買付期終了までの買付量は前年を大幅に上回るとともに、2006年の水準も超えるとみられている。食糧部門の統計によると、9月30日までの河北省など11の小麦主産省における各種食糧企業の累計新小麦買付量は、前年同期比1,624.2万トン増の5,866.6万トンとなり、うち国有食糧企業の買付量が87%を占め、1,472.9万トン増となった。小麦の最低買上価格対策区6省（河北省、河南省、江蘇省、安徽省、山東省及び湖北省）の買上量は前年同期比1,307.8万トン増の4,202.7万トンで、2006年同期に比べ108.7万トンの増加となった。

#### 4 国内市場の小麦価格は安定しつつも上昇

中国の小麦生産は5年連続の豊作で、総供給量は十分である。ただし、生産コスト上昇や中央政府の買上価格引き上げなどの影響により、新小麦の買付価格は上昇基調を示した。農業部のモニタリングによると、国有食糧企業の白小麦買付価格は、6月初旬の50kg当たり75.6元から9月下旬には同84.0元まで上昇し、紅小麦は同73.3元から76.5元、混合小麦は同71.9元から78.2元と、それぞれ8.4元、3.2元、6.3元の上昇となった。

2008年10月20日に国家発展改革委員会が発表した2009年食糧最低買上価格情報によると、白小麦、紅小麦、混合小麦の最低買上価格は、それぞれ500グラム当たり0.87元、0.83元、0.83元へと引き上げられ、2008年に比べそれぞれ0.10元高、0.11元高、0.11元高となっている。この措置は、小麦市場に一定の上昇作用を及ぼし、鄭州市（河南省の省都）食糧卸売市場における普通小麦（一般品質の小麦）卸売価格は、2008年5月の1トン当たり1,590元から10月には1,670元（上昇幅5%）、優良小麦卸売価格は同1,640元から1,840元（上昇幅12.2%）となった。

#### 5 世界の小麦生産量は史上最高を更新

昨年来の国際小麦価格の大幅上昇に刺激され、2008/09年度の世界の小麦播種面積は大幅に増加し、生産量は史上最高を更新し、在庫量も大幅に増加するとみられている。国際穀物理事会（ICG）の予測によると、同年度の世界の小麦生産量は前年度比11%増の6.76億トン、消費量は同5.73%増の6.46億トン、貿易量は同6.42%増の1.16億トン、期末在庫量は同24.39%増の1.53億トンと見積もられている。この他、国連食糧農業機関（FAO）の2008年10月の予測の趨勢は、ICGの予測と基本的には一致している。

#### 6 国際小麦価格は4か月連続で下落、10月は下落が加速

世界の小麦供給量が増加し、需給ギャップが緩和されたことから、2008年2月以降、小麦の国際先物・現物価格は全体に下落基調となり、6月以降は中国などの小麦生産量が大きく増加し、小麦価格は4か月連続で下落し、10月には下げ幅が加速し、最近15か月で最低の価格水準となった。

2008年10月の米国メキシコ湾における硬紅冬麦（蛋白質含有量12%）の平均離岸価格（本

船渡し価格＝FOB価格)は1トン当たり259ドルで、前月比17.32%安・前年同月比28.11%安となった。カンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は同222.3ドルで、前月比19.78%安・前年同月比30.03%安となった。同月は国際小麦価格及び海上輸送費が大幅に下落し、2007年6月以来初めて、国際価格が国内価格を下回った。米国メキシコ湾における硬紅冬麦の通関渡し価格(Duty Paid: CIF+関税等)は1トン当たり2,475円で、前年同月の国内優良小麦の南方消費地区における卸売価格に比べ同385元高く、内外価格差は前月に比べ縮小した。